

【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

〔成果情報名〕 良食味・多収で品質に優れる“中生晩”の水稻新品種候補系統「山形 142 号」の現地における生育

〔要 約〕 「山形 142 号」は、“中生の晩”の粳種で、水稻奨励品種決定調査の結果から、収量は「はえぬき」に優り、品質は「はえぬき」並からやや優る。食味は「はえぬき」に優る。

〔部 署〕 山形県農業総合研究センター・土地利用型作物部、水田農業研究所・水稻部

〔連絡先〕 TEL 023-647-3500

〔成果区分〕 普

〔キーワード〕 水稻、山形 142 号、良食味、収量

〔背景・ねらい〕

近年、登熟期の高温条件下による米の品質低下が問題となっており、高温登熟条件下でも品質の優れる新品種が求められている。そこで、“中生の晩”に属し、高温に強く、食味、収量、品質が優れる「山形 142 号」の県内平坦地における生育特性を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 「山形 142 号」の出穂期は「はえぬき」並、成熟期は「はえぬき」より 1 日遅い（表 1）。
- 2 稈長、穂長は「はえぬき」より長い。穂数は「はえぬき」より少ない（表 1）。
- 3 収量は「はえぬき」に優り、千粒重は「はえぬき」より 2 g 程度重い。玄米品質は「はえぬき」並からやや優る（表 1、図 1、図 2）。
- 4 食味官能値の外観、白さが優れ、総合評価においても「はえぬき」に優る（表 2、表 3）。
- 5 以上から、「山形 142 号」は、中生の晩、良質・多収・良食味の特性を持つ。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 県内平坦地域の「はえぬき」作付け地域において主力品種と組み合わせる品種として期待される。

〔具体的なデータ〕

表1 県内における水稻奨励品種決定調査成績（令和元～6年）

供試年次	場所	品種・系統	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0～4)	精玄米重 (kg/a)	玄米千粒重 (g)	品質 (1～9)
令和元～6年	河北町 谷地	山形142号	8.02	9.09	76.7	18.7	456	0	62.4	24.0	2
		はえぬき	8.02	9.11	71.4	17.7	489	0	56.9	21.9	3
令和元～4年	川西町 下奥田	山形142号	8.09	9.20	73.1	17.3	452	0	53.0	23.6	2
		はえぬき	8.08	9.20	67.7	16.0	458	0	48.4	22.6	2
令和5～6年	米沢市 上新田	山形142号	8.01	9.06	76.1	18.5	415	0	61.3	24.7	5
		はえぬき	8.02	9.06	72.0	17.5	449	0	55.6	22.5	6
令和元～6年	長井市 九野本	山形142号	7.30	9.10	73.7	18.9	504	1	61.8	23.8	3
		はえぬき	7.30	9.10	68.0	17.5	521	0	56.3	21.9	3
令和元～6年	鶴岡市 矢馳	山形142号	7.31	9.10	76.4	18.9	510	0	68.5	24.0	4
		はえぬき	7.31	9.09	69.9	17.4	539	0	61.6	22.2	5
令和元～6年	酒田市 漆曽根	山形142号	7.31	9.10	82.5	19.2	545	0	68.0	23.9	4
		はえぬき	7.31	9.09	76.3	18.0	556	0	60.0	21.9	4
令和元～6年	農総研セ 山形市	山形142号	8.01	9.08	84.0	19.6	460	1	66.7	24.2	3
		はえぬき	8.01	9.08	76.8	18.8	501	0	58.9	22.3	3
令和元～6年	水田研 鶴岡市	山形142号	8.01	9.09	76.9	19.2	531	1	66.4	23.7	4
		はえぬき	7.31	9.09	71.3	18.0	540	0	61.7	22.0	5
全県平均		山形142号	8.02	9.10	77.4	18.8	484	0	63.5	24.0	3
		はえぬき	8.02	9.09	71.7	17.6	507	0	57.4	22.1	4

注1) 各所各期間の調査結果の平均値

注2) 倒伏は0(無倒伏)～4(完全倒伏)で評価

注3) 品質は1(1上)～9(3下)で評価

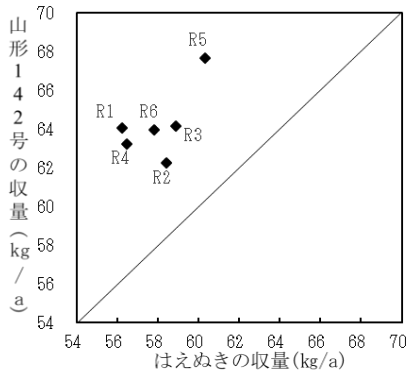


図1 収量の比較（令和元～6年）

注1) 全調査地点の年次別平均値にて作成

表2 食味官能試験結果(総合)（令和元～6年）

実施場所	実施年					
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
河北町谷地	0.13	0.32	-0.33	0.04	0.50 *	0.43 *
川西町下奥田	0.43	0.26	-0.38	-0.37		
米沢市上新田					0.41	0.12
長井市九野本	0.04	0.32	0.13	0.27	-0.31	0.33 *
鶴岡市矢馳	0.50	0.35	-0.05	0.06	0.00	0.40 *
酒田市漆曽根	0.20	0.08	0.53 *	0.53 *	0.22	0.60 *

注1) 基準米は水田研産「はえぬき」、試験は各場所において実施

注2) 基準米を0として-3～+3で評価し、平均値を示した。

注3) 「*」は5%水準で基準と有意差があることを示す。

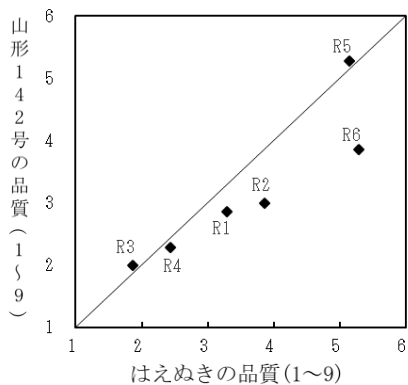


図2 品質の比較（令和元～6年）

注1) 全調査地点の年次別平均値にて作成

注2) 1(1上)～9(3下)で評価

表3 食味官能試験結果 令和元～6年)

実施場所	供試年次	総合	外観	光沢	白さ	香り	味	粘り	硬さ
農総研セ	令和元年	-0.25	0.42 **	—	—	0.00	-0.29	-0.38	0.71 **
	令和2年	0.42 **	0.77 ***	—	—	0.03	0.19	0.55 **	0.06
	令和3年	0.18	0.52 **	—	—	0.12	0.12	0.33 *	0.12
	令和4年	0.38 **	0.46 **	—	—	0.27	0.23	-0.04	0.58 ***
	令和5年	0.39 ***	0.26 *	—	—	0.16	0.39 ***	0.10	0.06
	令和6年	0.28 *	0.20	—	—	-0.08	0.20	-0.08	0.16
水田研	令和元年	0.35 *	0.25 *	0.25 *	0.20 *	0.05	0.30 *	0.35	0.35 *
	令和2年	0.08	0.17 *	0.21 *	0.33 *	-0.08	0.04	-0.04	0.21
	令和3年	0.33 *	0.33 **	0.25 *	0.67 ***	0.04	0.13	0.29	0.38 *
	令和4年	0.33 *	0.46 **	0.29 *	0.71 ***	0.17 *	0.21	0.00	0.42 *
	令和5年	0.29 *	0.17 *	0.33 *	0.50 **	0.00	0.21	0.29 *	-0.04
	令和6年	0.50 *	0.31 *	0.38 *	0.63 **	0.06 *	0.38 *	0.25	0.13

注1) 基準米は水田研産「はえぬき」、試験は各場所において実施

注2) 基準米を0として-3～+3で評価し、平均値を示した。

注3) ***, **, *はそれぞれ0.1%, 1%, 5%水準で基準と有意差があることを示す。

〔その他〕

研究課題名：水稻・畑作物奨励品種決定調査

予算区分：県単

研究期間：令和6年度（昭和29年～）

研究担当者：安達甲悦、内藤光貴、吉崎渉、齋藤嶺次郎、堀心佑、遠藤祐、阿部光希

発表論文等：なし